



<学校だより>

七葉松



第6号

平成30年10月30日

新発田市立七葉中学校



- 学校評価特集号 -

絆づくり集会～生徒会大活躍～

校長 久保 英典

七葉中学校では6月と10月の年2回、絆づくり集会を実施しています。6月の集会については学校だより（七葉松）6月号に記載したとおり、「いじめ見逃しゼロ」をテーマにしたものでした。



ほめほめ自己紹介

今回は七葉小、菅谷小の6年生を招き、「中1ギャップ解消」「リーダー及びフオーロアの資質向上」を主なねらいとして実施しました。活動は全て中3・2・1・小6が入り混じった10人程度の縦割り班で行いました。



動画によるルール説明

最初の活動は「ほめほめ自己紹介」。一人一人が自己紹介（自分の名前と一言＜好きな食べ物等＞）を言う度に「いいね」「すごいね」とみんなでほめ合う活動です。誰かが話をする度に拍手と笑い声が響いていました。



校内オリエンテーリング

続いては「校内オリエンテーリング」。ルパン三世をモチーフに、生徒会書記局が撮影・編集した動画を基にルール（七葉中の至る所に隠された宝を探してまわる）を説明し、活動がスタートしました。校内13箇所クイズに答えたり、ミッションをクリアし、13の宝（文字）を手にし、それを並び替えて言葉を考えました。

全員で大縄を跳んだり、学年毎にクイズを答えたりしているうちに、少し緊張気味だった6年生、班のリーダー役の3年生の表情もしだいにやわらかくなり、校内のあちらこちらから明るい笑い声が聞かれました。参加した6年生からは「少し緊張したけど、だんだん楽しくな

った」「七葉中の校舎内を歩きながら先輩たちと楽しく話ができ、入学への不安がなくなった」との感想発表がありました。運営に携わった3年生からも「楽しそうな班や盛り上がっていた班がたくさんあってうれしかった。運営を頑張ってたよかった」との声が聞かれました。

集会を企画し、当日も運営で活躍してくれた生徒会書記局、専門委員長。各班のリーダーとなった3年生、そして班の雰囲気盛り上げた1・2年生。それぞれが自分の役割をきちんと果たしたことが会の成功に繋がったのだと思います。全校生徒一人一人の活躍が光った絆づくり集会でした。

さて、今号は学校評価特集号とし、夏休み前に生徒、保護者の皆さまにご協力いただいたアンケートを基に分析、説明したものを記載します。ぜひ御覧ください。

第1回学校評価の結果から

研究主任 丸田 幸恵

保護者の皆様、「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございます。集計結果は、同時期に行った生徒のアンケートとともに、「知育」「徳育」「体育」の3領域それぞれの担当者による分析と併せて、次ページ以降に記載されております。お読みください。

知育では、学力向上のために「授業改革」「NRTやWeb配信システムによる診断問題など各種テストからの実態分析に基づく方策」「家庭学習の習慣化」に取り組んでいます。特に家庭学習については、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

徳育では、思いやりや仲間づくりのために「あいさつ」「絆づくり集会」「人権教育、同和教育」「道徳教育」等に力を入れています。

体育では、望ましい生活習慣づくりのために、「健康チェック」「十分な栄養摂取」「生活改善、メディアコントロール」に取り組んでいます。健康チェックカードについては、保護者の皆様から家庭の様子をお知らせくださるとありがたいです。

【知育アンケート結果】

〈生徒アンケート〉

下表は教室掲示「学習5つの目標」をどれだけできたか調査した結果					
項目	割合 (%)				
	4月	5月	6月	7月	総合
①授業の準備を整え、チャイム前着席をした	97.8	97.8	97.7	99.1	98.1
②話している相手の目を見て聴いた	91.9	95.6	93.7	95.6	94.2
③目標をもって意欲的に活動に参加した	88.9	91.2	91.5	91.2	90.7
④ノート(プリントの記入)を工夫し、ていねいに取った	91.1	92.0	92.2	87.6	90.8
⑤(学年+6)×10分の家庭学習に取り組んだ	74.1	76.5	73.1	75.2	74.7

〈保護者アンケート〉

①お子さんの1日の平均学習時間(塾も含む)はどの位でしたか。

項目	割合 (%)
ア 2時間以上	6.1
イ 1時間半～2時間未満	28.2
ウ 1時間～1時間半未満	38.9
エ 30分～1時間未満	22.9
オ 30分未満	3.1
カ まったくしない	0.0

②基礎・基本の定着を図るため、当校で以下のような取組を進めています。効果があると思われる取組をすべてお答えください

項目	割合 (%)
ア Webテキストに向けた朝学習	50.4
イ 各教科からの宿題	51.9
ウ 自学、課題の提出・点検	64.9
エ 家庭学習強調週間	48.9

③お子さんは家で普段、本や新聞、週刊誌等、どれくらい活字を読んでいますか。

項目	割合 (%)
ア 2時間以上	2.3
イ 1時間半～2時間未満	2.3
ウ 1時間～1時間半未満	7.8
エ 30分～1時間未満	17.8
オ 30分未満	37.2
カ まったく読まない	32.6

【知育について】

知育部長 安達 智美

①Web配信集計システムの診断問題について

毎月1回、Web配信集計システムの診断問題を国語・数学・英語の3教科で実施しています。今年度は、診断問題において、各教科の正答数が7点以上になる生徒の割合が65%以上になれるよう、朝学習として過去問題などに取り組み、各授業で補充学習を進めています。1学期終了時点では66.3%と、目標の割合を超えました。2学期からは、全学年の数学と英語に関しては、過去問題に取り組む際、各教科の教員2名と複数の教員での学習支援に取り組んでいます。また、診断問題の結果を受け、対象生徒に基礎基本定着のための補充学習を毎月1回、各学年部で取り組んでいます。今後も基礎的・基本的な内容が定着するよう努めていきます。

②「家庭学習強調週間」について

小・中学校が連携し、取り組んでいます。中学校では、家庭学習強調週間(テスト前1週間)だけにとどまらず、毎日の家庭学習時間を記録し、自己評価をすることで家庭学習への意識を高められるよう取り組んでいます。1学期の取組では、基準である(学年+6)×10分以上の家庭学習を

した生徒の割合が74.7%と、前年度の1学期に比べ数値が上がり、学習意欲の向上が見られました。

「毎日の学習」において、当日家庭学習で取り組む教科をチェックし、翌日その評価をすることで、昨年度よりも家庭学習への意識を高めることができました。今後も継続し、さらに家庭学習への意識を高められるよう促していきたいと思います。11月19・20日には定期テストがあります。日々、目標である家庭学習時間に取り組めるよう、ご家庭での声かけもお願いいたします。

③「学習の5つの目標」について

“(学年+6)×10分の家庭学習に取り組んだ”以外の4項目で90%を超え、前年度の1学期に比べてさらに数値が上がりました。生徒の学習に対する意識が向上していることが分かります。今後も、「学習5つの目標」を意識させながら、学習意欲を高めるとともに、授業ではより魅力的な学習課題を提示できるよう工夫していきます。



【徳育アンケート結果】

<生徒アンケート>

【豊かな心】

① あなたは、楽しく学校生活を送っていますか。

項目	割合 (%)
ア 楽しい	55.8
イ どちらかといえば楽しい	33.3
ウ どちらかといえば楽しくない	10.9
エ 楽しくない	0.0

② あなたは、誰に対しても気持ちのよいあいさつを交わすことができましたか。

項目	割合 (%)
ア 大いにできた	31.2
イ できた	52.2
ウ あまりできなかった	13.0
エ できなかった	3.6

③ 「絆づくり集会」「いじめや差別をなくすための授業」を行いました様々な差別を重要な問題として真剣に考えることができましたか？

項目	割合 (%)
ア よくできた	43.5
イ できた	49.3
ウ あまりできなかった	5.1
エ できなかった	2.2

<保護者アンケート>

【豊かな心】 目標：「自己肯定感を高く、自他共に認め合える生徒の育成」

① お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。

項目	割合 (%)
ア とても思う	24.4
イ 思う	66.4
ウ あまり思わない	8.4
エ 思わない	0.8

② お子さんは、お家でもきちんとあいさつをしていますか。

項目	割合 (%)
ア よくしている	15.3
イ している	65.6
ウ あまりしていない	18.3
エ していない	0.8

③ 七中では、同和教育・人権教育を推進しています。お子さんは、公平な判断で誰に対しても優しく接し、思いやりのある行動をとっていると思いますか。

項目	割合 (%)
ア とても思う	12.3
イ 思う	76.2
ウ あまり思わない	9.2
エ 思わない	2.3

【徳育について】

徳育部長 堀田 和恵

①学校生活について

生徒アンケート①で、「楽しく学校生活を送っている」「どちらかという楽しい」と答えている生徒が89.1%います。「楽しくない」と答えた生徒は0%です。多くの生徒が、充実した学校生活、良好な人間関係の中で生活していると考えられます。昨年度から引き続き、『思いやり・協力・感謝』を行動目標として、学校行事等の活動に一人ひとりが具体的な目標をもって取り組んでいます。活動後の振り返りでも、多くの生徒が仲間との関わりを感じながら活動に参加したことがわかる記述が多く見られます。そうした中でも「どちらかといえば楽しくない」と答えている生徒には、教育相談等の機会を捉えて丁寧に話を聞くなど、心に寄り添う指導や見取りを継続していく必要があると考えています。

②あいさつについて

生徒アンケート②で、「誰に対しても気持ちのよいあいさつを交わすことが大いにできた、できた」と答えている生徒が83.4%います。あいさつ運動は、生徒会を中心に確実に実施されており、担当生徒の呼びかけの効果もありほぼ全員の生徒が参加しています。また、あいさつ運動期間には、菅谷小学校と七葉小学校の小学生が七葉中学校に来校し、登校する中学生に元気よくあいさつをしてくれました。この活動も、小中連携の活動として定着してきています。こうした取組

により、誰に対してもあいさつがきちんとできる生徒が増えてきている一方、外部の方に対するあいさつはまだまだ不十分という課題もみえてきています。2学期も取組を工夫して、さらにあいさつ運動を盛り上げ、「誰に対しても」気持ちのよいあいさつができる生徒たちに育てていきたいと考えています。

③「絆づくり集会」「いじめや差別をなくすための授業」への取組について

生徒アンケート③で「絆づくり集会」「いじめや差別をなくすための授業」に取り組む中で、「様々な差別を重要な問題として真剣に考えることがよくできた、できた」と答えた生徒は、92.8%でした。1学期に行った「絆づくり集会」では、生徒会が主体となり、いじめに関する全校アンケートの結果からの実態分析の発表や、劇をみて縦割り班で話し合う活動を行い、いじめについて全校で考えるよい機会となりました。2学期以降も、道徳の時間に同和教育、人権教育の学習を行うとともに、人間関係づくりや他者と関わる活動を各学級で行っていきます。

来年度からの「特別な教科 道徳」の実施にあたり、保護者の皆様にはアンケートにご協力頂きまして大変ありがとうございました。結果をもとに、今後の指導計画を作成し、家庭・地域とで連携して、人間性豊かな心を育むための道徳教育を充実させていきたいと思っています。

【体育アンケート結果】

【たくましい体】

- ① あなた（生徒）は体力を高めるために、体育の授業以外でも運動をしていますか。（体育の授業は除く・部活動は含む）

項目	生徒 (%)	保護者 (%)
ア 週5日以上運動	55.1	60.8
イ 週3～4日運動	14.5	12.3
ウ 週1～2日運動	14.5	9.2
エ ほとんどしない	15.9	17.7

- ② あなた（生徒）は、朝食を食べて登校していますか。

項目	生徒 (%)	保護者 (%)
ア 毎日食べてくる	84.1	86.3
イ だいたい食べてくる	8.7	7.6
ウ 時々食べないときがある	4.3	3.1
エ ほとんど食べないでくる	2.9	3.1

- ③ あなた（生徒）は主食・主菜・副菜のバランスを考えて食事をしていますか。

項目	生徒 (%)	保護者 (%)
ア バランスを考えて食べている	18.2	13.0
イ バランスよく食べようとしている	42.3	36.6
ウ あまり考えずに食べている	29.9	42.0
エ ほとんど考えずに食べている	9.5	8.4

- ④ あなた（生徒）は、何時頃に就寝していますか。

項目	生徒 (%)	保護者 (%)
ア 10時以前	8.7	10.7
イ 10～11時	37.7	52.7
ウ 11～12時	43.5	32.1
エ 12時以降	8.0	3.8
オ 深夜1時以降	2.2	0.8

- ⑤ メディア器機（テレビ、パソコン、ゲーム、携帯電話）については、1日どれくらい使用していますか。

項目	生徒 (%)	保護者 (%)
ア 1時間未満	6.5	9.9
イ 1～2時間	28.3	29.8
ウ 2～3時間	37.0	38.2
エ 3～4時間	18.1	15.3
オ 4時間以上	10.1	6.9

② 健康について

年間4回の健康チェック週間を設定し、健康的な生活習慣の定着を呼びかけています。保護者の皆様からは毎回家庭の様子をコメントしていただくことで、家庭との連携を図っています。そこで毎回問題となるのが、就寝時間とメディア時間です。保護者は子どもが自分の部屋に入ってしまうと、すぐに就寝していると思っても、実際は携帯端末を使用し、就寝時間が遅くなっているという事が少なくないようです。生徒アンケートと保護者アンケートを見比べてみても保護者の把握と生徒の回答でずれがあることが見て取れます。これを機会に夜の過ごし方について、家庭で話し合ってみてください。

③ 栄養について

およそ85%の生徒が毎日朝食を食べてきています。しかし、習慣化していない生徒もおり、個別の声かけをしています。朝食の重要性については、10月に3年生を対象とした栄養教育の授業を行いました。

アンケート項目③を見ると、保護者が思っている以上に生徒はバランスよく食べていると感じているようです。栄養バランスや量を考えて食事を用意している保護者の気持ちをくんで、好き嫌いせずに栄養面から食事を考え、摂取できるようにしてほしいと思います。

【体育について】

体育部長 加藤育志

① 運動について

体育の授業では、年に2回の体力テストを行い、そのたびに分析と次回の目標設定、運動プログラムの作成を行っています。前期の全体的な傾向としては、20mシャトルラン（持久力）が課題として明らかになりました。これを最重点課題として秋の持久走に力を入れて、改善を図っています。また、昨年の反省として、後期は授業以外の運動習慣が減りました。これは3年生が部活動を引退し、日常的に運動をする習慣が減ったことと、冬季間に入ったことが原因だと思われます。体力要素別に分析した個人課題克服と、自分で設定した運動習慣の定着ができるように指導していきます。